

## ミクロ経済学「追加問題」

論点

効用関数が右下がりの直線のケース

ある消費者は所得のすべてを X 財、Y 財に支出し、効用関数は以下のように与えられているとします。

$$U = x + y \quad ( U : \text{効用水準、} x : \text{X 財の消費量、} y : \text{Y 財の消費量} )$$

この消費者の所得は 24 で、X 財と Y 財の価格はそれぞれ 2 と 4 であったとします。

今、Y 財と所得はそのまま、X 財の価格だけが 2 から 3 に上昇した場合、当初の効用水準を達成させるために必要な所得（補償所得）は、価格変化前よりいくら増加しますか。

1. 0      2. 6      3. 12      4. 24      5. 36

(国家一般職 改題)